

Windowsクライアント版アプリとサーバー版アプリの違い

2024.4.1

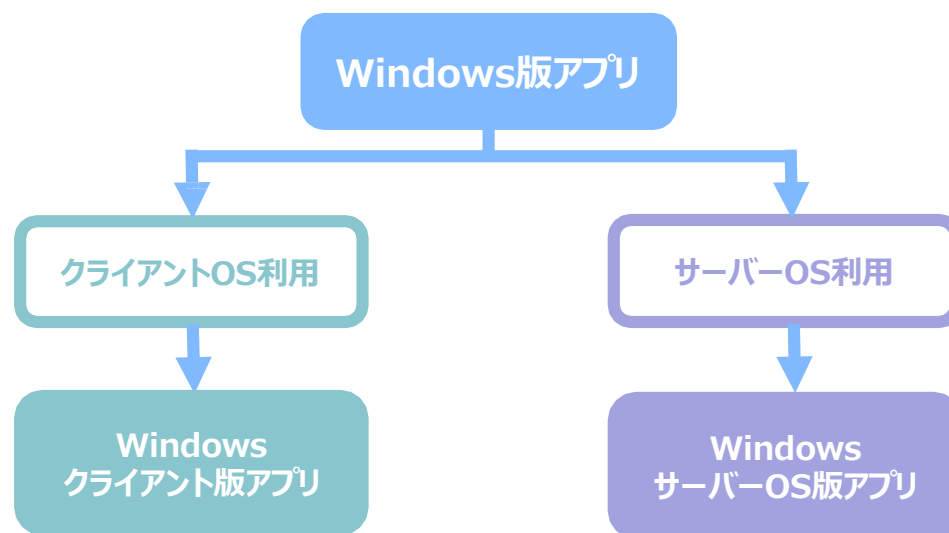


概要

□どこでもキャビネット Windows版アプリについて

Ver3より、Windows版アプリは「Windowsクライアント版アプリ」と「WindowsサーバーOS版アプリ（有償）」の2種類をご提供しております。

本資料はWindowsクライアント版アプリとWindowsサーバーOS版アプリの違いについて記載をします。



ご提供内容

■ サーバー版アプリ提供条件

サーバー版アプリは、有償オプションのため別途オプション契約が必要です。
ご利用にあたっては弊社営業にご相談ください。

Windowsサーバー版アプリオプション：月額2,420円/台

■ クライアント版アプリとサーバー版アプリについて

クライアント版アプリはオンデマンド同期のため、稼働するためにはサーバーをログオン・ロック状態で運用しなければなりません。サーバーはログオフ状態で稼働することが多いため、サーバーログオンが不要なサーバー版アプリをご用意しております。

サーバー版はサーバーOS運用を想定して、アラートやアップデートのメール通知機能やキャビネット単位で同期フォルダを設定する機能が用意されています。

機能差分表

□ Windowsクライアント版アプリとWindowsサーバー版アプリの違いの差分表

	Windowsクライアント版アプリ	Windowsサーバー版アプリ
①どこでもキャビネットとの同期方法	オンデマンド同期 * フォルダを開いたタイミングで、開いた先のみ同期 * 自動ダウンロードに設定した場合、10分ごとに同期	10分ごとに同期（差分同期）
②Windowsへのログオン	必要	不要
③仮想利用	可	不可（すべて実体がダウンロードされている状態）
④オーバーレイアイコンの表示	あり	なし（すべて自動ダウンロードのため）
⑤自動ダウンロード （仮想ファイルの実体をダウンロード）	可	不可（すべて実体がダウンロードされている状態）
⑥同期したいフォルダの選択	選択不可。すべて同期	同期したいキャビネットを選択可能
⑦同期フォルダーのアイコン	どこでもキャビネット独自のアイコン	エクスプローラーのまま（見た目に変化なし）
⑧メールでの通知機能	なし	あり

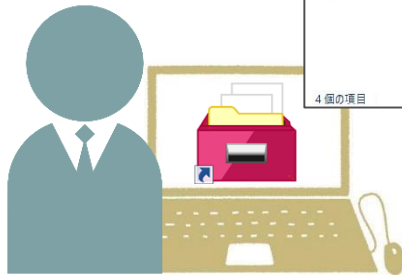
① どこでもキャビネットとの同期方法

Windowsクライアント版アプリ

オンデマンド同期

- Windowsクライアント版アプリでは表示したフォルダを表示時点で同期します。(オンデマンド同期)

① キャビネットをクリック

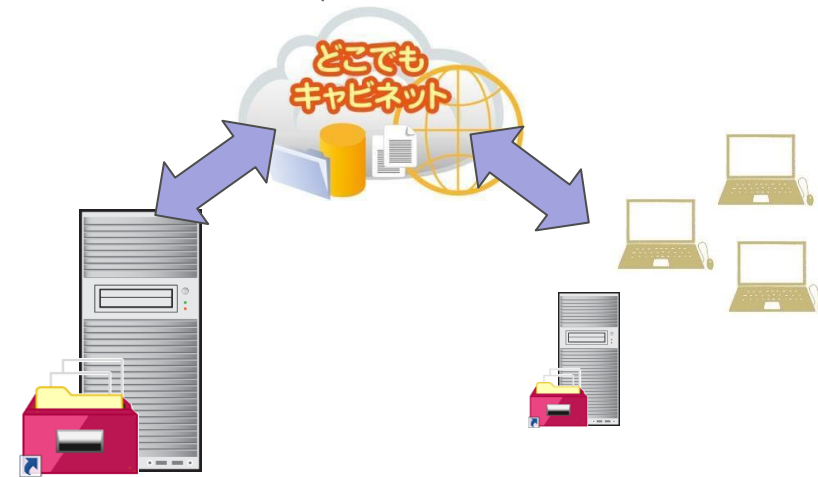


WindowsサーバーOS版アプリ

10分毎に同期

- Windowsサーバー版アプリは10分ごとに同期を行います。

10分間隔でどこでもキャビネットサーバーと同期



② Windowsへのログオン

Windowsクライアント版アプリ

ログオンが必須

- ・同期の際に、フォルダを開く動作が必須（オンデマンド同期）のため、Windowsへのログオン必須となります。



WindowsサーバーOS版アプリ

ログオンは不要

- ・Windowsへのログオンは不要です。ログオフした状態で稼働させることが多いサーバーOS向けの仕様です。



③ 仮想利用

Windowsクライアント版アプリ

仮想利用可能

- ▶ アップロードされたデータは仮想ファイルとなり、ローカルの容量を消費しません。



WindowsサーバーOS版アプリ

仮想利用不可

- ▶ アップロードされたデータはすべて実体となり、ます。そのため、対象サーバーのディスク空き容量に注意が必要です。



④ オーバーレイアイコンの表示

Windowsクライアント版アプリ

仮想利用可能オーバーレイアイコンが表示される

- ▶仮想ファイルや実体のあるファイルが混在することがあるため、わかりやすいようにファイルにオーバーレイアイコンが表示されます。



WindowsサーバーOS版アプリ

オーバーレイアイコンが表示されない

- ▶アップロードされたデータはすべて実体のため、仮想や実体であることを表すオーバーレイアイコンは表示されません。



⑤ 自動ダウンロードの有無

Windowsクライアント版アプリ

自動ダウンロード設定できる

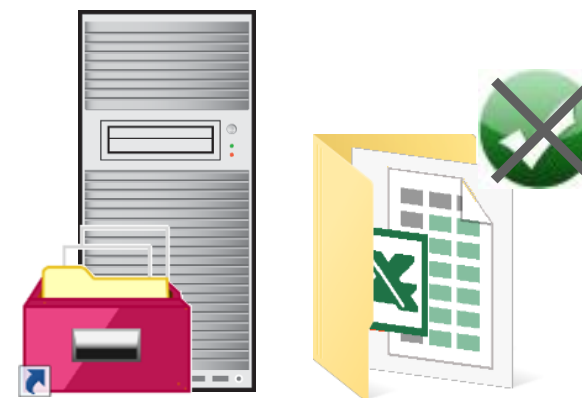
- ▶仮想ファイルを常に実体のある状態に設定することができます。ローカルの容量を消費しますが、オフラインでもデータを閲覧することができます。



WindowsサーバーOS版アプリ

自動ダウンロード設定できない

- ▶WindowsサーバーOS版アプリにアップロードされるデータはすべて実体があるので、自動ダウンロードの設定はありません。

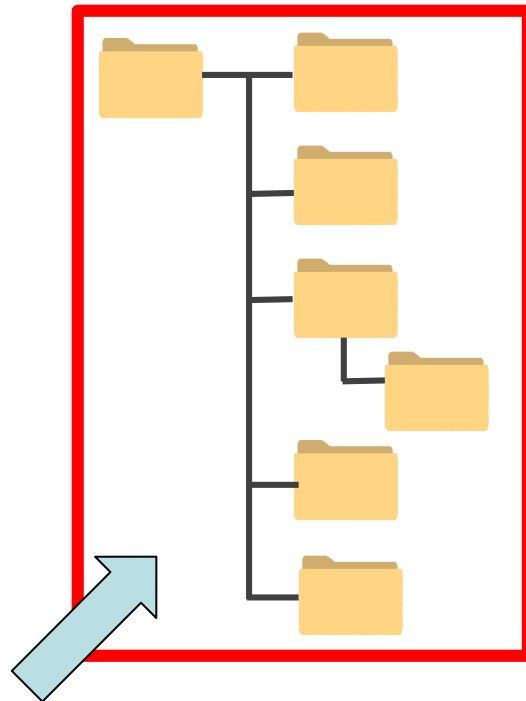


⑥ 同期したいフォルダーの選択

Windowsクライアント版アプリ

どこでもキャビネットすべて

▶フォルダの一部を指定して同期することはできません。

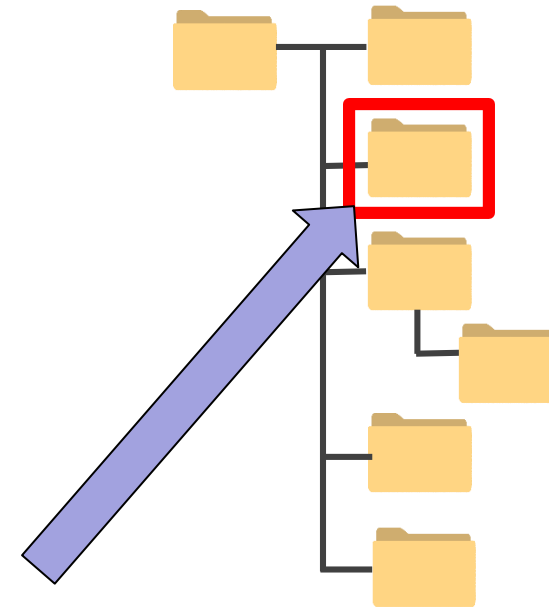


すべて同期される

WindowsサーバーOS版アプリ

任意のキャビネット

▶フォルダの一部を指定して同期することが可能です。



フォルダを指定できる。

⑦同期フォルダーのアイコン表示

Windowsクライアント版アプリ

どこキャビ独自のアイコン

- ▶マウントしているフォルダはどこキャビ独自のアイコンで表示され、移動や削除ができません。



WindowsサーバーOS版アプリ

エクスプローラーのまま

- ▶マウントしているフォルダはエクスプローラーと同じように表示されます。移動や削除も可能です。誤操作にご注意ください。

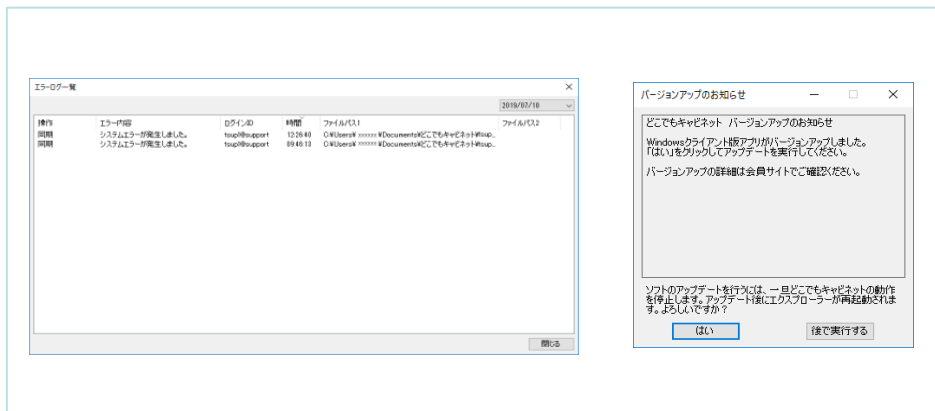


⑧メールでの通知機能

Windowsクライアント版アプリ

なし

- ▶ ログオンしてエラーログを確認したり、利用時に表示されバブルでエラーを確認する必要があります。
アップデートがあった場合もログオン時の画面での確認となります。



WindowsサーバーOS版アプリ

あり

- ▶ どこでもキャビネット設定メニューからアップデート時やエラー発生時に通知を受け取れるように設定ができます。
通知メールアドレスは最大5個まで設定可能です。

